(11)

た。次の15年、りが同年3月に誕生。 が同年3月に誕生。 旅館ホテル連盟(旅

今年、

10年の節目の年をそれぞれ迎

連盟(旅ホ連)と運輸観光施設連盟(運観連)

ズが20

1 5

寺仁運観連会長の3氏に、か。同社の百木田康二社長

同社の百木田康二社長と金谷譲児旅ホ連会長、

10年間の回顧や相互連携の在

百木田

20年に向けてどう連携を強化して

小野く

り方などについて語ってもらっ

刊

第2部

宿泊·旅行業·運輸·自治体

(観光全般)

ップツアーズ&旅ホ連・運観連



東武トップツアーズ運観連 小野寺



東武トップツアーズ

の活動ができなくなった。

F a c e

報連絡会」を立ち上げ、 根付かせるため、

互に情報交換する体制を築

策事業は常

うされ、それに

宿泊施設では、業務の効

求めて努力を続

現状まだその

いるのが理

状だ。感染症対

と捉えている。

し思っている。

コロナ禍に入ってからは



東武トップツアーズ旅ホ連

史を持つ会社だっただけ んだ「インバウンド誘致

さった方々ばかりだ。 東武トラベル・旧トップツめられている方が多く、旧 う間だったというのが正 昭氏は「完全統合には5年 に、この10年間はあっとい 設立直後に両連盟と取り

双方を気にかけてくだ 員の業務経験・知識が不足

コロナ前、コロナ禍、そのとができたのも印象的だ。 どう融合させるか」が最大 後と、事業の在り方が変化 金 谷 ながらも非常に有意義な 事に役立つ知識を学ぶこ 年間だったと思う。 5年は「異なる文化を 合併後の最初

会社の経 H e a

ある一方で、まったく外国 もある。今後は訪問先の分 が課題となっている地域が 全体で取り組むべき課題だ は旅行会社だけでなく業界 散を図る必要があり、 金谷 現在は地域差が大

タイや台湾を訪問した。

いう意味では時代に先駆

~ありがとうの連鎖を

しっかりと

ーマだった。

されていなかった当時、

ドという言葉が今ほど注目

商談会」では、

国内市場につ 61 り返り 発想から生

交わせる機 層と直接意見を 貴重な事業だ。 時代に若手経営 の後を継ぎ、3 松は初代会長・ 会は他にはなか 例回に参加して

会員の多く

はりリアルで語り合うこと

ル開催を続けてこられた

ちょうどコ

の機会が限られて部総会で直接あい

じている。となっていることを強く感

の活動を支える大きな土台

仙台や沖縄でもリア

谷会長らによって築かれた ともに運観連の基礎を築 りわけ、初代中野会長や金 野に入れた時期だった。 き、後半の5年はコロナか 新事業への挑戦も視

(司会=本社編集長 10年間の振

まれた取り組み

りと、印象に残っているこ・森田淳)10年間の振り返 声もあったが、東早いのではないか

を含めてこれま してきた。 している「若

られていることを改めて実 運観連が全国の会員に支え 皆さまにお会いする中で、 じていたが、各地で会員のしまったことは心苦しく感 最初の5年は中野会長と

和やかな雰囲気の中で意見を交わす3氏 施設では、 びは見込め 時間規制に れる。 ト(宴会)を 日を設ける必要があり、さ

別化を図るかが

12面に続く

体を受け入れる の課題だ。労働 八手不足が深刻 数の大きな伸 いと感じて

団体のバンケッ 受け入れるのが 小野寺 入れ体制に課題がある。 観光施設でも受

なるなど、さまざまな制限 業態を変更したり、団体の 関しては、ドライ た施設もある。バス事業**に**

てきている。

も続くと予想さ

百木田 昨年度の実績で――国内市場について。 の落ち込みをどう補うかが せた「スゴ得プラン」などは、宿泊とJRを組み合わ 大していくためには、 市場規模を拡 て

足りず稼働できないケー 状況に対し、外国人の雇用も見受けられる。こうした ながら解決策を見いださな 肢も含め、知恵を出し合い 室に空きがあっても人手が 率化が強く求められて 万の旅館・ホテルでは、 直しも不可欠だ。 人手不足への対応とし 需要と供給のマッ

されるため、取

を受けて順位を決め、

宿泊単価の

-ション)

仕入れ代金や

"Warm Heart ~ありがとうの連鎖を~

私たちは、「人」が主人公、財産であること 経営の根幹に据えます。

お客さまへの ありがとう 私たちに人生の瞬間をお預けい ただくお客さまへ常に感謝し、 誠意と熱意をもってその期待を 超える感動を実現します。 ビジネスパートナー 地域の皆さまへの へのありがとう ありがとう 私たちのサービスを支える 地域の皆さまが育んだ自然 宿泊施設、運輸機関をはじめ や文化や産業によって、人と とするすべてのビジネス 人との交流を生み出す機会 パートナーの皆さまへ感謝 の気持ちで対応します。

仕事を通じてお客さま、お取引先さま、そして地域の方々とともに 明日へつなぐ「ありがとう」を共創し、安全・安心と最上のサービス により期待を超える感動を創造します。



